

水戸北インターチェンジの誕生 渡邊一夫氏 × 青沼文彦氏

元県土木部長 (当時・県水戸土木事務所長) 元県土木部技監兼検査指導課長 (当時・県道建設課高速道路対策室室長補佐)



いばらきの公共事業を紐解く

水戸市北西部や城野町方面からの常磐自動車道へのアクセス向上、渋滞緩和などのために、水戸市飯富町の国道123号へ接続するスマートICの社会実験が...

全国初の本線直結型IC

2003年11月、国からスマートIC(ETC専用IC)設置の社会実験を開始するとの発表がありました。当時、既存の高速道路に追加ICを高速道路に追加工事として...



いばらきの公共事業 歴史をたどり、後世に残す 県水戸土木事務所編

私は「元IC」という言葉が好きです。水戸土木事務所時代は茨城の元気が土木事務所からの心意気で仕事に取り組み、一つの事業を終えた時には、事業に携わった職員皆と喜びを分かち合っていました。



この地域には県の住宅供給会社が進める水戸ニュータウンがあり、ここから高速道路に乗り降りしてきたら非常に大変な思いがする。非常に短い期間で用地取得が完了した。このスマートICの建設に当たっては、国土交通省常陸河川国道事務所、ネクスコ東日本(道路公社)、県警察にも協力してもらった。

安心安全を守り続ける団体へ 3団体合同賀詞交歓会開く

大洗町建設業協議会など



大洗町建設業協議会(大洗町建設業協会)と、大洗町排水設備指定工事店組合(菊地正宣組合長)、大洗町指定給水装置工事業者組合(三浦正樹組合長)の3団体による合同賀詞交歓会が、13日、さかやみ酒造で開かれた。

公下工事など4件追加

見直し 道路改良等8件が変更

守谷市

- 守谷市が公共工事発注見直しを刷新した。総数は15件で、内訳は追加が松ヶ丘小学校引戸扉交換工事など4件、変更は8件、とりやめは3件。各事の内容は次のとおり

計算式を一部改正

入札制度 低入価格など引上げ

阿見町

阿見町は2023年4月から入札制度を一部改正する。中央公営住宅の改正に伴うもの。改正内容は最低制限基本価格等を算出する際に用いる計算式の一部を改正する。現行では一般管理費が0.55で計算されているが、23年度からは0.68で計算する。

不調不落で公募試行

6号石名坂地区改良

常陸河川国道

国土交通省常陸河川国道事務所は、不調・不落対策として「R4国道6号大和田田原石名坂地区改良工事(日立市石名坂町)で公募型指名競争入札方式(日立市石名坂町)を試行する。あわせて余裕期間制度、難工事指定を採用する。参加表明確認申請書の提出期限は今年3月30日。3月6日に開札する。

2月3日まで募集

家庭ごみ収集の受託者

市

行方市は、2023年度(25年度)3年間にわたって、家庭ごみ収集業務(家庭ごみ収集業務)の受託者を募集する。募集期間は2月13日午後5時まで。業務内容は市内のごみ集積所に排出される燃えるごみ、燃えないごみ、資源ごみ、有害ごみの収集運搬業務。収集運搬区域は市全域とする。そのほか詳細については、業務説明会(2月25日)で説明する。